

TSしたボクが親友に

襲われてメスに目覚める話



何かボクの...いい、入口を探つて...

ま...ま...ま...

どんどん

ハ

本当にいれないんだよね…
タケル君…

あ、ああ…
そのちよつと擦るだけだから…

ズ
ズ
ズ



事の発端は僕の
大好きなタケル君からの
願いからだった……

ボク

え

最初は何でボクなんかにも
とも思ってた……

だっぺいおり……胸だっぺい……
おっきくなつたし……
それに……何時も何時も……
その、ちかいんだよ……

そ、そうかな……？

そうかもしれない

体つきは幼少の頃より幾分か
変わった気はしている。

ムサ

ムサ

最近TS細胞も活性化して、それが
顕著に現れるようになった

だけど……

他の皆と違いタケル君は僕を僕として見てくれてたから……
距離が近くなっていたのかもしれない。

女・タケル君

えんたんね

おあい

だからかな……

そう考えると甘えた僕にも責任があると思ひ、断り切れなかったんだ。

その……僕も恥ずかしいから……
ここいいうのは今回だけにしてね……

モゾ

モゾ

ズルッ

あ、ああ……

何より大好きな親友からの頼みでもあったから……





打ち付け始めた…



そうやってタケル君は僕の腰をゆっくりと持ち上げ…



何だか…

僕まで…これ…



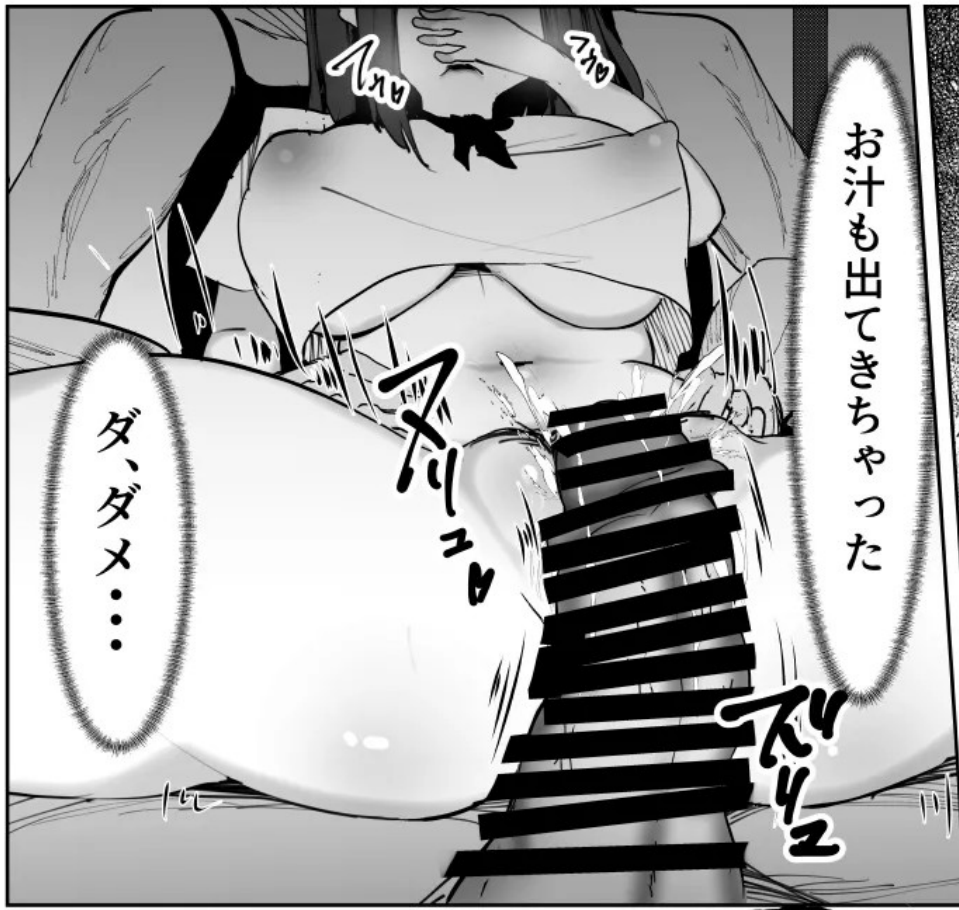
ただ擦りつけるだけなのに…



あっ…

んっ…

体が…



声でちゃう・・・

お汁も出てきちやった

ダ、ダメ・・・

割れ目に沿って僕の
クリにあたっ・・・
それで僕っ、感じてっ・・・

違う違う、僕まで
その気になったらどうするんだっ！
が、我慢っ、我慢しなきゃ！

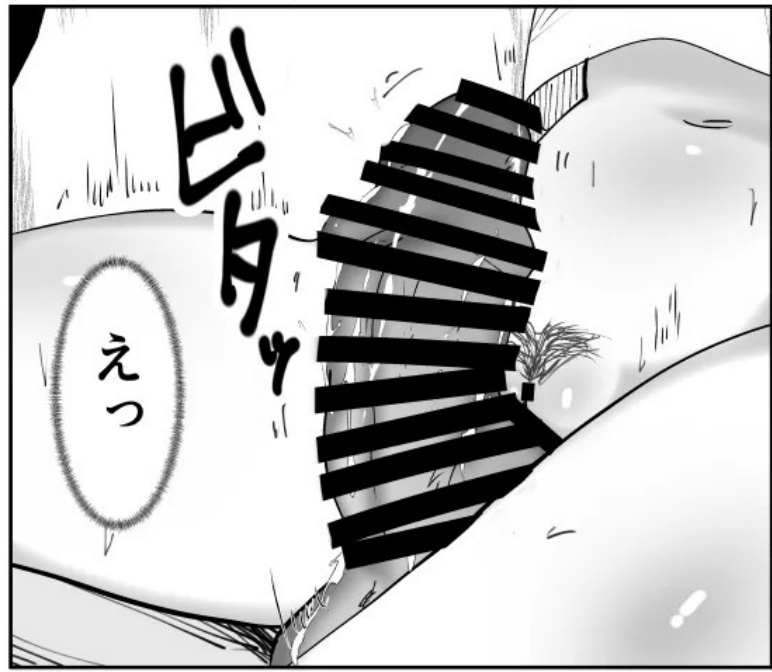
ズン

ズン

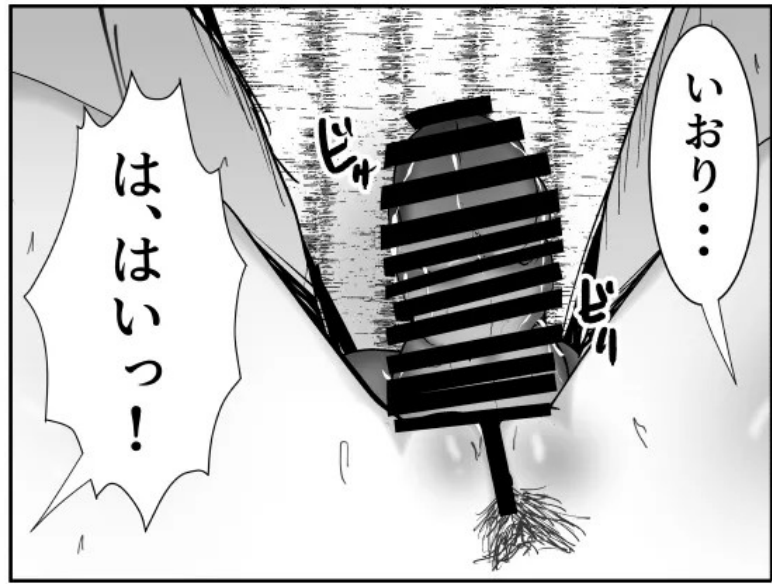


とまった……？

もしかしてタケル君
僕が感じてるの……っ
え、待って……っ！



えっ



いおり……

は、はいっ！

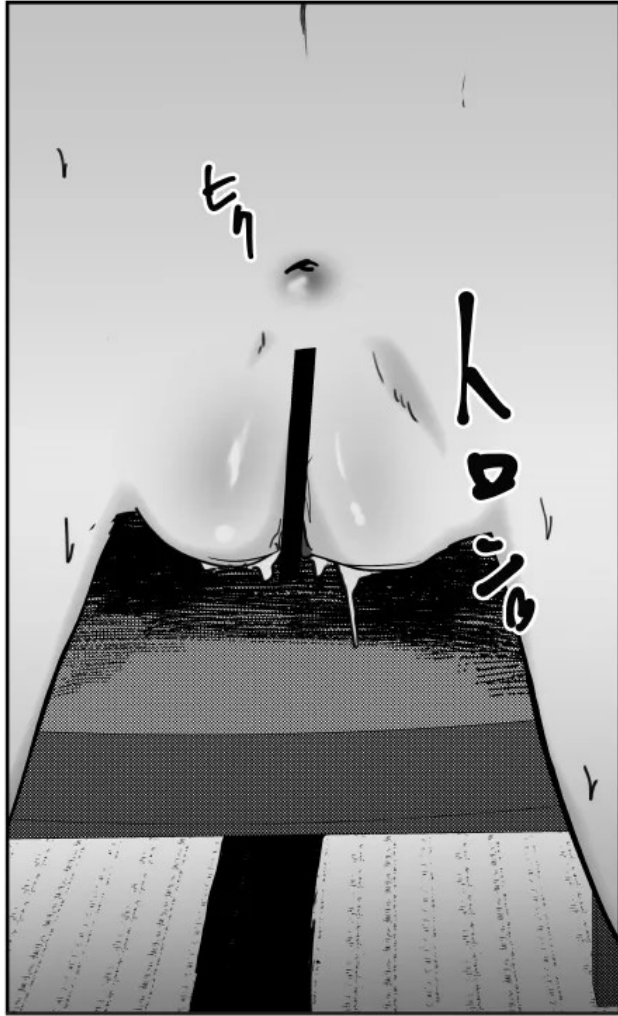


すまんやっぱ
この体勢やりずれえわ
その四つん這いになってくれね？

あ、体勢ね……

う、うん……

よ、良かったばれてはなかったんだ……
それにさっきの体勢のままだったら……
ぼ、僕がっ……

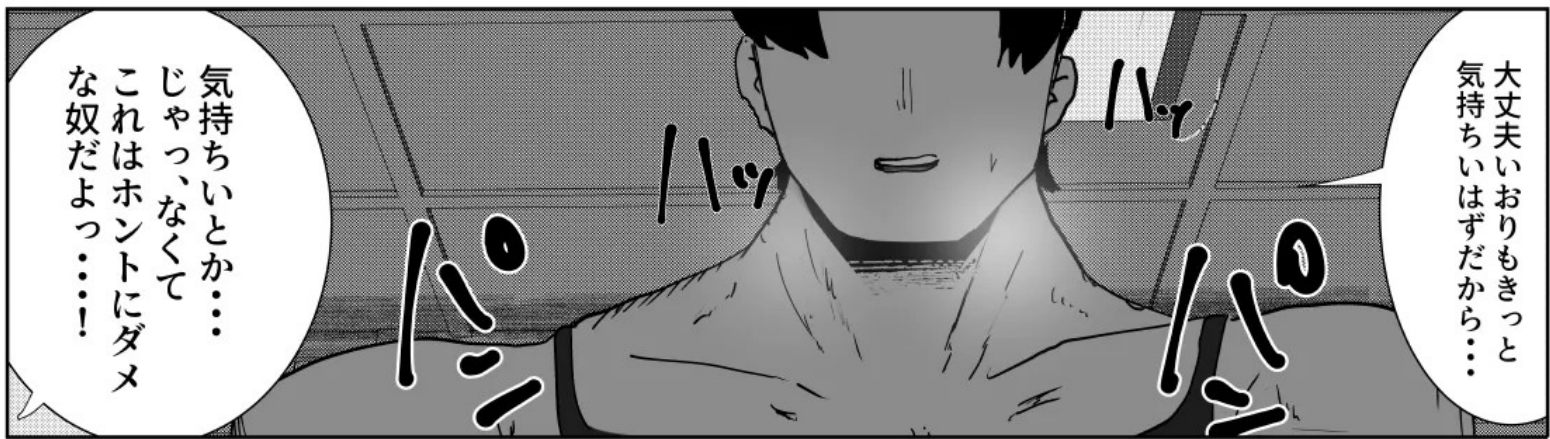






ああいい、
いおりの中すっげえ気持ちいいっ！

ダメダメダメダメタケル君っ！
動かないでっ！！
抜いてっ！！抜いてっよっ！



大丈夫いおりもきつと
気持ちいはずだから…

気持ちいとか…
じゃっ、なくて
これはホントにダメ
な奴だよっ…！！



ダメ…
たける君ボクの
言う事全然聞いて…



こんな事してちゃダメ事なのに...

どうしよう... ..

どうしよう... ..



ボクタケル君と...

セツ...

っ!!





な、何考えてるのっ！タケル君っ
ね、ねえってばっ！

ほんとにっ！
タケッ…

ダメダメダメッ
だからねっ！





ダメツ
タケル君落ち着いって

中っ中にだしたんだよっ!
こんな事してたら赤ちゃんがつ!



一、二回くらい大丈夫
だろっ…

それに俺もお前も…
ここの慣れておいた方がいいだろ





おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ

タケル君に：：襲われた僕は
もう自分の体女の子なんだと強く
自覚せざる負えなかった……

そしてタケル君とは……

距離を置こうと思っていた……

思っていたんだ……
なのに……

無理やりだったのに……

物みたいに扱われたのに……

な、何でなの……

僕の体は……本心とは別に
雌としての本能が……
目覚めはじめたいた。

おわり